

管工事業の未来を創造するため

日本水道新聞 編集長
武田 教秀

株式会社 日本水道新聞社

設立 1954年 本社所在地 東京都千代田区（日本水道会館内）

発行媒体

・ 日本水道新聞

1954年創刊 月/木曜日発行

・ 水道公論

1965年創刊 毎月1日発行

・ 日本下水道新聞

1969年創刊 水曜日発行



- ・国内の新聞の発行部数

2007年 約5200万部 → 2023年 約2800万部

- ・1世帯辺りの新聞購読部数

2007年 1.01部 → 2023年 0.49部

専門新聞は？日本水道新聞は？

課題は経営の継承と雇用

武田 教秀 (たけだ・のりよし)

岩手県和賀郡江釣子村(現北上市)出身 1980年(昭和55年)生まれ(43才)

- 2004年 3月 大学卒業
- 2005年 4月 日本水道新聞社 入社
- 2005～2007年 大阪支社 →近畿地方を中心に西日本の水道・下水道の現場を取材
- 2007～2013年 日本下水道新聞 編集部
→「水」に関わる国政、下水道行政全般、海外水ビジネス
- 2013～2015年 日本水道新聞 編集部 →全国の水道事業の現場を取材
- 2015～2016年 出版企画事業部(書籍編集、イベント企画)
→(書籍編集)続・日本下水道史、世界の水事情、都市水管理事業のハンドブック 等
(イベント企画)BISTRO下水道、地方自治と水道 等
(その他)下水道浸水対策ポータルサイト・アメッジの構築 等
- 2016～2021年 日本水道新聞 編集部
→水道に関する全般を担当、東京都水道局・水道のインフラを巡るツアー・ツアーガイド
水道実務者が水道のこれからを考えるウェビナー 等
- 2022～2023年 日本下水道新聞 編集長
- 2023年～ 日本水道新聞 編集長

【社外での活動】

下水道広報プラットフォーム 企画運営委員(2012-2013年)

水制度改革議員連盟・水循環基本法フォローアップ委員会 事務局(2016-2020年) など

- 幼少期の “クラウン” の思い出
- 災害現場の取材（東日本大震災、東日本台風等）
- 全国の管工事組合の取材
- 2021年11月10日に開催したウェビナー
「水道管工事業の現状と課題から解決策を考える」
- 青年部協議会との交流
- 全管連の担当記者として（2022年～）

- ・2021年11月10日に開催したウェビナー
「水道管工事業の現状と課題から解決策を考える」
- ・マンガ「命の水物語」

管工事の魅力、やりがい、足りない物が見える

【プログラム】

- 開会挨拶 藤川幸造 全国管工事業協同組合連合会会長
- 講演 粕谷明博 全国管工事業協同組合連合会 専務理事
「人材不足から見える管工事業界の課題」
- 講演 石飛博之 給水工事技術振興財団 専務理事 「給水工事技術向上への取り組み」
- 事例報告 原宣幸 神奈川県管工事協同組合連合会会長(全管連副会長)
「箱根町包括委託から見る管工事組合のあり方と災害対応」
- 事例報告 山形市上下水道部 「管工事業と水道事業の連携構築」
- トークセッション 管工事業の未来を語る～現場が求めているもの～
荒井康裕 東京都立大学准教授 太田勝昌 全管連青年部協議会会長
林 里香 厚生労働省水道課課長補佐

■ 論点

- ① 管工事業はやりがいのある仕事
- ② 担い手の確保が必須（事業承継、入職の促進）
- ③ 働き方改革の重要性（DX、国の制度等）
- ④ 管工事業のイメージアップの促進

「命の水物語」から伝わる管工事業の魅力

- ・人の役に立つ仕事ができる
- ・筋骨隆々の肉体が手に入る
- ・技能五輪/資格/キャリアアップ
- ・企業内のチームワーク
- ・経営と事業承継



本紙・水業界リクルート特集の取材・編集からの気付き

- ・水の仕事の “やりがい” は共通
- ・超大手を除いて採用は苦戦中
- ・セカンドキャリアの定着率が高い
- ・キャリアパス・働き方に “企業差”

その中で管工事の魅力とは？

やりがい + α
(高収入?)



【掲載企業】水道機工、東京水道、東京都下水道サービス、日本下水道事業団、足立建設工業、ヴェオリア・ジェネッツ、エースコンサルタント、NJS、荏原実業、大原鉄工所、オリジナル設計、極東技エコンサルタント、クリアウォーター OSAKA、月島JFEアクアソリューション、月島ジェイテクノメンテサービス、日本水工設計、日本ヒューム、フソウ、真下建設、日水コン など

労働力の需給ギャップが逆転

現状の水道事業・水道関係企業は
“施工力” が喉から手が出るほどほしい



官民双方が施工力確保の手立てに苦慮



DB、ウォーターPPP、コンセッション…

管工事の力を地域の “施工力” に

公共事業は “民” 優位の時代へ

DXの推進

中小企業のDXはハードルが高い 官を扇動

→給水装置工事電子申請システム、CCUS等

民間提案の時代

民間提案の実施有無が国庫補助要件に

→官民連携 (DB、ウォーターPPP) 民主導での実施を

“民” 優位時代の管工事業への変化を期待

官民

工・製・販

国土交通省 6年度予算上下水道一体効率化・基盤強化推進事業費
官民連携推進事業等基盤強化推進事業 採択事業体(千円)

北海道	46000	藤枝市	14160	鹿沼市	18700	岩国市	15000
苫小牧市	10000	愛知県	83780	桐生市	20000	徳島市	15000
盛岡市	40000	豊橋市	17265	埼玉県	18000	丸亀市	15000
釜石市	22000	安城市	20000	千葉市	11250	宇多津町	15000
角田市	15000	四日市市	15000	船橋市	15000	西条市	15000
岩沼市	12370	鈴鹿市	15000	佐倉市	15000	高知県	26000
大崎市	15000	名張市	15000	習志野市	15000	福岡県	15000
柴田町	14500	滋賀県	15000	横須賀市	15000	久留米市	20000
川崎町	10720	堺市	15000	座間市	10500	苅田町	20000
大和町	12000	羽曳野市	15000	新潟県	37500	佐世保市	15000
秋田県	14000	東大阪市	15000	新潟市	15000	熊本県	36100
秋田市	15000	交野市	15000	見附市	8250	上天草市	15000
山形県	15000	兵庫県	19342	富山市	15000	宇城市	28000
鶴岡市	15000	尼崎市	15000	金沢市	20000	益城町	15000
南相馬市	15000	西宮市	15000	福井県	15000	氷川町	8250
昭和村	15000	伊丹市	14920	白馬村	1611	大分市	15000
茨城県	15000	三田市	19120	岐阜市	10000	日田市	40000
水戸市	19342	米子市	15000	静岡市	15000	宮崎市	15000
神栖市	15000	島根県	15000	熱海市	20000	延岡市	40000
小美玉市	15000	松江市	15000	焼津市	9050	鹿児島市	1902
宇都宮市	15000	隠岐の島町	20000				

82 事業体

分野間連携を
検討していることが
有力な自治体

下水道界が広報に取り組み始めた時の問題意識

見えない下水道を「見える化」したい



見えないからこそ面白い

管工事業界の面白さは？何を見せるか？

管工事業は
日本を支える大きな力

- ・積極的な“施工力”強化
→組合の強みと全国組織を生かす
- ・“物言う”管工事業界に
→情報のアンテナを高く、
良き“圧力団体”に
- ・水の仕事を象徴する存在に
→水を扱う社会的価値は高い

水を仕事にする誇りを

ご清聴ありがとうございました